

タワーヤーダ研修における参加者からの声

これまでに実施したタワーヤーダ研修において、受講生や講師から感想・意見をいただいていますので、参考にしてください。

【受講生からの声】

- ・ タワーヤーダの架設時間が短いと話では聞いていたが実際に見ることができて理解した。
- ・ 現地見学により、先柱やガイラインの設置のイメージができた。
- ・ 現地見学では、新しい素材のスリング等、軽くて自社でも使用可能な資器材を知った。
- ・ タワーヤーダは、重量が重いため、ガイラインを固定するための場所の確保や走行するための道の整備といった様々な課題があり、いかに解決していくかが大事だと感じた。
- ・ 作業現場の、少人数化・機械化・簡素化の大切さを痛感した。
- ・ 事前に図上で線を張る位置を検討することで、現場での確認をスムーズに行えることを覚えた。
- ・ 机上計画において、タワーヤーダの向きや搬出路を考慮する時のポイントを学んだ。
- ・ 作業の効率化や労働力の低減等に使えるようなツールを教わったので、自社でも取り入れていきたい。
- ・ GISを活用した机上計画が便利だったので、導入を検討したい。
- ・ 安全面について、色々な道具を知れて良かった。
- ・ 法令や安全作業について学ぶことができた。
- ・ 機械のメンテナンスの重要性を再確認した。
- ・ 現場の責任者として、器具や線の傷み具合等を見回ることの重要性を理解した。

【講師からの声】

- ・ 室内での座学、現地での見学や実習のバランスがちょうど良かった。
- ・ タワーヤーダの機種別の特性について、特に力を入れて指導すべきだと感じた。
- ・ タワーヤーダは、安全なガイラインの設置（主索とガイラインの角度等）が重要である。
- ・ タワーヤーダを使用するための作業道計画の重要性について、知ってもらいたい。また、作業道のシミュレーションは、複数案の計画を立てることが大事である。
- ・ 今度実際に行う現場で架線計画の実習を実施したため、より実践的な内容になった。
- ・ 林業架線主任者としての責任の重要さを伝えることができた。
- ・ 研修を機会に、タワーヤーダを導入する事業者が増えれば良いと思う。